



第17回 東京女子医大 総合診療セミナー

①その『いびき』は危険です

～多くの潜在患者が認められる睡眠時無呼吸症候群(SAS)～

②「若いから放置していても大丈夫？」って思っていないですか

～家族性高コレステロール血症(FH)は心血管疾患の最悪のリスク因子の一つです～

東京女子医科大学総合診療科 関口治樹 准教授

略歴：

平成14年3月 東京慈恵会医科大学医学部 医学科 卒業
4月 本学 附属日本心臓血管研究所 循環器内科に入室（研修医）
16年4月 本学 臨床系大学院 循環器内科学 入学
17年10月 Division of Cardiovascular Research, St. Elizabeth's Medical Center, Tufts University, Boston (U.S.A.)、
エストロゲンと血管新生の研究
19年11月 Feinberg Cardiovascular Research Institute of Northwestern University School of Medicine,
Chicago (U.S.A.)、エストロゲンと血管新生の研究
21年6月 Regenerative Medicine and Research, Kobe Institute of Biomedical Research and Innovation/RIKEN
Center for Developmental Biology 神経幹細胞と血管新生の研究
22年1月 東京女子医科大学 循環器内科 助教
22年3月 博士（医学）学位取得（東京女子医科大学）
4月 独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター 循環器内科 医員
24年7月 東京女子医科大学 附属青山病院 循環器内科 助教
令和3年4月 同 総合診療科 講師 医局長、循環器内科、睡眠科 兼務
5年8月 同 総合診療科 准教授、循環器内科、睡眠科、予防医学科 兼務

資格：総合内科専門医、循環器内科専門医、睡眠認定医、動脈硬化専門医、産業医

FAHA, FACC, FAPSC, FACP, FICC

役職：日本動脈硬化学会 評議員、日本心血管薬物療法学会 評議員、日本血管生物学会 評議員

①人間は人生の1/3は睡眠をとっており、1日8時間の睡眠を80歳まで取ると24年間となります。本邦では、約10人に一人（約3～9%）がSASであると報告されており、潜在患者数としては、約300～900万人と推定されます。この身体と脳を休める、貴重な睡眠時間に生活習慣病が悪化しているとしたら、どう思いますか？

②FHは常染色体優性遺伝の遺伝形式をとり、その頻度は300～500人に1人と最多の遺伝疾患と言われています。若年時よりLDLコレステロールが高値となり、結果として早期に動脈硬化性心血管疾患を引きおこします。20歳LDLコレステロール 180mg/dL 女性に対して、どう説明しますか？

参加費無料

Zoom開催

事前登録制

対象 総合診療に興味のある医師・学生・コメディカル

日時 2023年**11月1日(水)**
19:00～20:30

参加方法 QRコードよりお申し込みください

* 読み込めない方は下記URLよりお申し込みください

* 必ずではございませんが、日本プライマリ・ケア連合学会の生涯学習単位（医師・薬剤師）が付与されます。

* お問い合わせ先：東京女子医科大学 総合診療科医局
<pcc-ikyoku.br@twmu.ac.jp>

* ZOOM <03-3353-8111 内線：37312>

https://zoom.us/meeting/register/tJ0kfuiujqMiG90Ywnwxh_UMTVHBpbGsamLK

